

弘前城天守は
石垣改修に伴う
曳屋工事により
77.6メートル
移動しました！



参画だより

弘前市マスコットキャラクター『たか丸くん』

No.61

2017. 3. 31

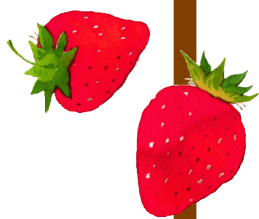
弘前市民参画センター

PICK UP!

男女共同参画の視点で読む
世界の格言・名言

毎日生きよ。
あなたの人生が
始まったときのように。

ゲート



弘前市民参画センター事業紹介「子育てサポートシステム『さんかくネット』サポーター研修会」 P 2

「平成28年度第2回ひとにやさしい社会推進セミナー」 P 2

「hirosaki smart project 女性活躍推進異業種交流会」 P 3

「第6回市民ボランティア交流まつり」 P 3

まなぼ「弘前市女性活躍推進企業認定制度」 P 4

おとこの気持ち聞いちゃいました「人生の相棒は今も心の中で健在」 P 5

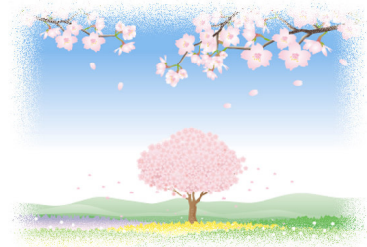
さんかくひとりごと「あれから一年…」 P 5

ひとグループ
男女・団体紹介「農業に真剣に取り組む農ガール」 P 6

利用者・利用団体紹介「オールエイトスクエアズ」ほか P 7

本の紹介「メイク・ア・ウィッシュの大野さん」 P 8

センターからのお知らせ P 8



子育てサポートシステム「さんかくネット」サポーター研修会



分かりやすく図で説明する講師の大瀬さんの話にメモをとり質問する子育てサポーター



「乳児の胸骨圧迫の場所は胸の真ん中から少し足側へ指2本を使って、この辺です」

「この辺でいいかしら？」サポーター同士で確認

胸骨圧迫。速いテンポ（1分間に約100回）で30回と人工呼吸を2回「いちにっさんっしゅ！」



平成28年11月8日、弘前市「さんかくネット」子育てサポーターの研修会を市民参画センターで実施しました。さんかくネットでは託児中の事故に対応できるように定期的に救命救急処置方法を学んでいます。弘前消防署の大瀬勝哉さんが講師となり、心肺蘇生法、火傷の冷やし方、けがをしたときの止血法、誤嚥をしたときの対処法を実技を交えて指導しました。

平成28年度第2回ひとにやさしい社会推進セミナー ～デートDVってご存知ですか？～

12月1日、弘前大学でキャリア教育形成の基礎を学ぶ学生を対象にしたセミナーを開催しました。市民参画センター職員が講師となり、「デートDV」をテーマにした講演と、講師自身の学生時代や社会人2年目となる職場での体験談を語りました。

◆デートDVについて

結婚をしていない恋愛中に起こっているデートDV。内容は、身体的・性的暴力のみならず、携帯電話をチェックする社会的暴力。精神的・経済的暴力など相手の心や体を傷つけるものがあると説明。学生時代実際に経済的暴力をうけた講師の体験談を話しました。

「相手はしばしば金銭を要求してきた。人づきあいがよくお金が必要だから仕方ないと自分のアルバイト代を渡していた。相手へ変化を求めたものの変わらず、このままではいけないと別れた」と明かしました。「DVは男性が加害者と思われがちだが、その逆もある。ひとりで抱え込まず身近な人に相談したほうがいい」と述べ、「相談を受けた人も『別れたほう

がいい』は逆効果の場合もあるため見守ってあげることも必要。人対人で捉え自分が被害者、加害者にならないためにDVについて理解し自分を大切にしてほしい」と呼びかけました。講師と同年代の学生は、自分自身にもこれから起こるかもしれないDVについて意識し学んでいました。

◆学生時代そして、社会人

大学在学中を振り返り、内定がなかなか出ず焦ったこと、また、様々なアルバイトをした経験で人との関わりや仕事ということが理解できたと話しました。社会人になり仕事に悩むこともある中「人に良い影響を与えられる人になりたい」という「今、自分にできる最高の仕事をしてください」という上司の言葉にとっても影響を受けたと紹介。仕事をする上で糧になっていると語りました。

今まで歩んできた道、これから歩む道のすべてが「キャリア」として話し、学生にエールを送りました。



hirosaki smart project

女性活躍推進異業種交流会

平成28年度から開催している
[hirosaki smart project]。2月
22日、第4回目の異業種交流会を
ヒロロスクエアで開催しました。

これまでオブザーバー以外は女
性だけで行ってきた交流会ですが、
今回は男性も参加。「男性上司の
キモチ、わたしたちのキモチ」オ
トコも辛いよ、オンナも辛いよ」
と題し、41名が集まりました。

何か答えや結論を出すことでは
なく、お互いを理解するきっかけ
づくりが目的だった今回は、男女
混合の6グループに分かれてワー
クショップを行いました。「上司」

に求めること、求められることは
は？男女がしたい働き方や仕事内
容には違いがあるのか、勝手な思
い込みはないか？前半では、今一
度「ジョカツ」について話し合い
が行われました。話し合いでは、
上司には相談に親身であってほし
い、上司のスケジュールは明確に
してほしい、男女関係なくコミュ
ニケーションがとれる働き方が大
事、などの意見がありました。

また、後半では子育てと仕事を
両立するワーキングマザーやワー

キングファザーとの関わり方につ
いて、ロールプレイングが行われ
ました。ロールプレイング後の発
表で会場が湧いた男性の発言。
「私は今日、ここに来る前に一つ
やらかして来ました。部下に相談
をされ、解決の方向性が決まり席
に戻ったと思ったら、彼女は上着
を着てパタパタと走って帰って行
きました。それから思い出しまし
た。彼女は今日参観日だから14時
から休みをとっていたんです。彼
女が帰ったのは14時10分でした」
この男性はこれからは「愛を持っ
て接していきたい」とのこと。



「女性活躍」と言いますが、女
性活躍には男性の理解や協力が不
可欠です。男性の活躍にも、女性
の理解と協力が必要です。カウ
ンターパートナー（対等な立場にあ
る相手）である男女が意見を交わ
し、理解を深めるきっかけになっ
たのではないのでしょうか。

第6回市民ボランティア交流まつり



吹奏楽団の演奏



楽しい読み聞かせ



華やかなフラダンス



オカリナ演奏

発表！

体験！



押し花体験



折り紙コーナー



ハンドマッサージ



アートバルーン



パンやお菓子の販売



人気のアイスクリーム



可愛い手作り小物



ヒバ材を使った製品

展示・販売！

2月12日、ヒロロスクエアで市民ボランティア交流まつりが開かれました。市民参画センターやボランティア支援センターを利用している各団体、個人が日頃の活動内容を市民に広く知ってもらおうと毎年開催しています。音楽サークルや読み聞かせボランティアサークルの発表。ボランティアグループのマッサージを受けられる体験コーナーや、自然保護や人権擁護団体などの展示。福祉施設で作られたパンやお菓子、手作りの置物や野菜の販売を通し活動への理解を深めていました。

まなほ

このページは男女共同参画についての学びを深めようということから企画されているページです。

平成29年1月20日
スタートしました！

弘前市女性活躍推進企業認定制度

弘前市は、女性従業員の活躍推進に積極的に取り組む企業等を「弘前市女性活躍推進企業」として認定します。女性の雇用環境を改善し、女性の個性と能力が十分に発揮できる社会を実現するため、女性の活躍を社会全体で応援しましょう。

～認定のメリット～

その1 金融機関からの借入れについて、金利が優遇になります

【認定制度を支援している金融機関から、法人向け、従業員向けにそれぞれ低金利での融資が可能になります】

その2 広報ひろさきや市のホームページでPR

【広報ひろさきや市のホームページで「女性活躍推進企業」として企業名を紹介するほか、企業への取材を行い取組内容を記事として掲載します】

その3 地元企業・就労関連事業におけるPR

【市主催の就活セミナーに出展する際は、認定企業であることを関係資料に記載し、入職促進につながるPRを行います】

その4 女性活躍に関する研修等のご案内

【県や市で主催する女性活躍推進に関する研修や講座の優先案内・情報提供を行います】

その5 総合評価落札方式による入札での加点 ※平成29年4月から

【建設工事（土木一式工事、建築一式工事、電気工事、管工事）の入札において実施している総合評価落札方式による入札制度の技術評価点の評価項目に「弘前市女性活躍推進企業認定制度」が追加されます】

～認定基準・認定要件～

○認定基準項目は

- 1、女性の雇用への取組
- 2、男女がともに働きやすい職場環境づくり
- 3、女性の登用その他女性の活躍推進に向けた取組

例えば「1 女性の雇用への取組」では

- ①女性が働きやすい企業であることをPRしている。
- ②男女共に公正な採用となるような選考方法としている。
- ③女性の採用拡大に計画的に取り組んでいる。
- ④非正規社員を対象とした正規社員への転換制度がある。
- ⑤経験者や再雇用者を含めて、女性を継続的に採用した実績がある。

女性の雇用が拡大され、企業の中で女性がいきいきとその個性と能力を発揮することができるような取組を評価します。

○認定にあたっては、3つの区分ごとに2項目以上取り組んでいることを要件としていますが、従業員数により異なる条件を設定しています。

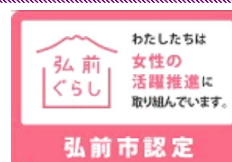


随時申請を受け付けています。

詳しくは、下記へお問合せか、市のホームページをご覧ください。

問合せ先：弘前市 市民文化スポーツ部 市民協働政策課

市民参画センター TEL0172-31-2500 FAX0172-36-1822



認定マーク

Q. 男女共同参画という言葉を知っていますか？

A. 新聞、テレビなどマスコミで知っている。

Q. 長い人生、職歴も長いでしょうね？

A. 江田島の海軍兵学校で終戦を迎え函館の高等水産専門学校に入り直して海上保安庁・海上自衛隊の職を務めた。退官してから3年ほど東南アジアでプロパンガスを運ぶ船に乗った。その後保険会社で損害調査委員をし75才で退職した。

Q. 社会人になって、つらいと思ったことは？

A. 私の時代は、ひとつの枠に1号2号3号の人間がいて、1号はエリートが2～3人、3号不器用な人間が12～13人いた。団体責任なので1号は3号を叱責するが2号が3号をフォローしてうまく回っていた。今のいじめの構図は考えられない、人間の資質は変わっていないと思うのだが。

Q. 女性の政治家をどう思いますか？

A. 今の時代にはなくてはならない。もっと増えてほしい。

Q. これからの女性に望むことはありますか？

A. 社会参加を、どんどんしてほしい。応援しています。

Q. 亡くなった奥様のことを聞いてもいいですか？

A. どーぞ。初めての赴任地が函館で、そこで知り合って結婚、子どもの教育方針で転勤の多い私は働く人、家内は家庭を守る人、と頑張ってくれました。おかげで2人の息子は北大の教授と1級建築士になってくれた。



80代・無職

インタビューを終えて

～人生の相棒は今も心の中で健在～

訪問したとき、居間にはどっしりとしたライティングデスクがあり、壁にはチーク材の民俗人形と日本舞踊の名取である奥さんが舞っている写真がたくさん飾られていた。そこに年代物のパーコレーターでコーヒーを淹れてくれたので、部屋いっぱい昭和の香りがした。いつも会議でお会いするイメージと違い、リラックスしているのは、奥さんの写真に囲まれているからなのかな…。 梅

～あれから1年…～



さんかくひとりごと

「保育所落ちた」という女性の悲痛な叫びが話題になってからすでに1年が経過した。しかし、待機児童の問題は解決されていないらしい。私の知人の間でも困っているという話が出ているところをみると都会だけの話でもないようだ。先日、衆議院予算委員会の場でこのことが話題になっていた。相変わらず待機児童の問題は改善されていないという女性議員の質問に対して、視聴者には「逆切れしている？」と思われるような答弁があった。どのような対策をしたのか、どれだけ成果があったのかは二の次で、働く女性や保育所入所を希望する子どもが予想より多かったから仕方がないというような…。

一方では女性活躍社会などとアピールしておきながら、それに見合った見通しをすべきだったのではないのか？見込みが甘かったのなら素直に過ちを認め、これからどうしていくかということだろう。それを悪びれたふうもなく出生率が上昇したとか働く女性が予想以上に増えたとか…あの答弁には違和感があった。保育所を落ち続けている女性にとっては腹立ちさえ覚えるものだったのでは？

保育所が見つからず、出産を機に仕事をあきらめたり、仕事復帰を先延ばししたり、働き方を変えたりと意に沿わない選択を余儀なくされている女性がなんと多いことか！確かに子育てで得るよろこびは大きいかもしれない。でもそれぞれの考え方や事情があることだ。こうすべきだというのではなくどうしたいかを大切に思っ



農業に真剣に取り組む農ガール

(ファームサカモト)

坂本 司子さん



元気な笑顔が印象的な
坂本司子さん

弘前市郊外の岩木山の麓でりんご農家の後継ぎとしてりんご作りをしている坂本司子さんにお話を伺いました。

農業を継ぐきっかけ

大学を卒業後、地元で会社員をしていましたが、父の病気を機に農家を継ぐことにしました。

家のため、やむを得ず農家を継いだと思われるかもしれませんが、父は私が農業をやることに大反対でした。父は建築士から転身して新規就農した人で、農業の厳しさを身に染みて感じていたのだと思います。しかも、親の反対を押し切ってまでやるほど農業が好きだったかという、思春期の頃は家が農家であることが嫌で農作業の手伝いなどしたこともなかったのです。なのにどうして？と言われると会社勤めにやりがいを感じなかったのと病気で農作業ができず寂しそうにしている父の姿を見て、

「りんご作りってそんなにもしろいのかな？」と思い、ちょっとやってみようという感じで始めました。

やってみて

就農するにあたって、「女だから」を言い訳にしたくないので、トラクターやスピードスプレーヤー等農業機械の運転はもちろん、簡単な修理もできるくらいまで勉強しました。父は最初、何にも教えてくれませんでした。が、私の本気度をわかってきたのか、徐々に指導、アドバイスをしてくれるようになりました。今は毎日園地で父とああでもない、こうでもないと言い合っている状況ですが、めげずに私は「農業はダサイ」のイメージを払拭すべく、「仕事っぷりは男らしく、心遣いは女らしく」をテーマに、完璧なUVカットとつけまつげをしてオシャレ心を忘れず農作業をしています。

同じ境遇の女性たち

私が農業を始めた10年前は、農協の青年部は男性ばかりで入れてもらえませんでした。私はそういう場で積極的にしゃべり

たいほうですが、当時はできませんでした。最近になり「農業女子」という言葉が流行し「女性を表に」という社会の雰囲気から駆り出されることが多くなっていると感じました。実際はもう10年以上農業に携わっている人が多いのです。

私と同じように後継をしている女性たちは独身と言えど家事もこなしいたため、機会を作つて引継ぎしてこないとなら出られないでいます。勉強会だけでも良かったのですが、理屈抜きで食べて飲んで、たわいもない話をして同じ境遇の人が集まる場を作り「次回会うまで頑張ろう」と励まし合っています。

女性だからできること

むしろ女だから、男性ができない逆の目で見ることには気が付きました。りんごの樹が高いというなら背の低い自分に合わせ剪定する。りんご箱を持つのが重いのなら、なるべく持たなくていいような仕事の流れを作るというような省力化、機械化で仕組みを作っていくといい。男女は必ずしも平等じゃなくて「女

らしい部分」は残っていてもいいと思っています。得意分野は違うから逆にそれを生かしてやり方を作っていくというのはこれからとても大事だと思います。

結婚観は？

農家の娘だと必ず特別な目で「婿」と言われます。婿じゃないといけないという人はいると思いますが、私はそうではなく自分の勤めている会社が自分の畑だったというだけで普通に嫁にいき、「実家の会社」に通いたいと思っています。一般の会社勤めをしている人と一緒に結婚して、出産して少し休んでまた畑に行く。農業を続けて行く手段は色々あります。様々なことに縛られることなく、気楽に身の丈に合わせたりんご作りを続けたいと思っています。



坂本さんのTwitter (ファームサカモト) には、りんごや岩木山への愛情あふれる写真が載っています



「コーラー」の指示に反応し、隊形を次々変化させるスクエアダンス

頭と体の健康に、スクエアダンス!!

オールエイトスクエアズ

弘前市民参画センター利用団体紹介

私たちは「スクエアダンス」という多分皆さんには馴染みのないダンスを愛好するクラブとして、参画センターを拠点に活動しています。センターは駐車場のこと（ご容赦ください）以外、まったく申し分ない施設として継続利用しております。

スクエアダンスは強いて言えばフォークダンスに分類されますが、ほかのダンスと大きく趣きが異なり、見てもらうものというより、踊る人が楽しむことを前提に考えられたダンスです。スクエアダンスを直訳し

センター利用者に突撃インタビュー

70代・女性



◆センターの利用目的と利用頻度は？

英会話教室のウェンズデイクラスです。毎週水曜日、月4回です。

◆センターを利用してみた感想をお聞かせください。

これまでいろんな場所を利用してきましたが、センターを利用し始めて10年以上になります。使用料金が安いのがとても良いですね。

◆センターに要望はありますか？

クラスのある時には早めに来て、2階のふれあいホールで新聞を読みたいのですが、6人掛けのテーブルをひとりずつ独占していて使えないことがあります。職員さんが長テーブルを出してくれるものの、出来ることなら利用者さんたちも相席をして利用してほしいと思います。また、私たちの利用時間は18:30～20:00までの1時間30分ですがセンターの規則により、2時間の予約になります。利用者のニーズに合わせた予約時間を可能にしてほしいです。また、駐車場が狭いので増やしてほしいです。3階のトイレに芳香剤はアレルギーのある人にはつらいので、消臭剤にしてほしいです。

◆「男女共同参画」についての感想をお聞かせください。

言葉は知っていますが、今の時代にその言葉は少し違和感があります。意識して生活しなくても自然体でお互いのできることを共同しているのではないですか。

◆「今一番」の楽しみは何でしょうか？

海外旅行!!今回も3月末にマレーシアのクアラルンプールに夫婦で行く予定です。体力のあるうちにまだまだ行きたいと思っています。



自分の考えをしっかりと持ち、学びと行動力がすごい!と感じました。自己実現を可能にさせるバイタリティが若さの秘訣だと改めて思いました。私も頑張ろうとやる気をもらいました。ありがとうございました。 by のん

ますと「四角いダンス」ということで、男女のペア4組8人（実際は女性が多いです）が正方形の隊形「スクエアセット」から始めるアメリカを発祥とするダンスです。歩くスピードより少し早い音楽に合わせ、ステップはウォーキングだけ、即興で基本の動作（というより「だが、どう隊形を変えるか」）を次々繰出す「コーラー」の指示に即時反応しながら、パートナーを変え、隊形を次々に変化させ、8人で協力しながら、またもとのスクエアセットに戻るといふダンスです。

困ったことにコーラーの指示が、英語で指示されます。発祥のアメリカに敬意を表すとともに、たとえばヨーロッパ・中国・台湾、世界のたくさんの国々どこでも同じ英語でコールされていますから、どこかよその国へ行っても踊れるということも目的としていて、世界に開かれたダンスでもあります。でも安心してくださ、指導は本格的な津軽弁です。

ダンサーにとつては次の展開がわからないスリル、ゲーム感覚、それが適度に脳を刺激します。少し頭も使いながら、みんなで協力して間違えないようにダンスを完成させるところが醍醐味であり楽しみとなっています。これからは頭と体のバランスのとれた健康が大事になってくると思います。青森県内にはまだ片手ほどのクラブしかなくマイナーですが、ぜひ参画センターに足を運んで、スクエアダンスを見学・体験してみてください。

例会日…毎週日曜夜

午後7時～8時50分

代表 藤田 隆一

TEL 73-4636

市民参画センターからのお知らせ

29年度 市民参加型まちづくり 1%システム事業募集!!



「みんなであずましいまちづくり」



地域のことをよく知っている市民のみなさん（町会、NPO法人、ボランティア団体など）のまちづくり活動を支援しています。これまで140を超える団体の方々の「市民力」で、魅力あるまちづくりが広まっています。みなさんのアイデアや経験を生かした事業の提案をお待ちしています。

【募集期間】

平成29年度の募集は3回を予定しています。

1次募集 (終了)

2次募集期間 平成29年4月3日(月)～5月2日(火)

事業実施期間 7月1日～翌年3月31日

3次募集期間 平成29年7月3日(月)～8月4日(金)

事業実施期間 10月1日～翌年3月31日

【補助金額】

※上限額50万円。対象経費の90%以内の額です。

※まちづくり1%システム審査委員会が審査します。

審査方法は、応募書類と公開プレゼンテーションの内容をもとに総合的に行います。ただし、補助金の申請金額が20万円以下の事業は、公開プレゼンテーションによる事業説明を申請団体の任意とします。事業説明を希望しない場合、市の担当者が事業概要を説明し、審査委員と申請団体で質疑応答を行います。

市のホームページから様式や申請ガイドブックがダウンロードできるほか1%システムに関する情報が掲載されていますので、インターネットを利用されているかたは、ぜひご覧ください。

気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

弘前市役所 市民協働政策課 市民協働係

☎ 40-7108 FAX 35-7956

Eメール shiminkyoudou@city.hirosaki.lg.jp

編集後記

還暦を迎えてからの転職。「フルタイムで働ける場所があるってすごいなあ」と他人ごとのように思う。2年を経過しようとしている今、年を重ねたからこそ仕事に活かせることがあることに気づいた。誰もが経験する「老いるということ」にきちんと向き合って生きていこうと思うこのごろである。

森

本の紹介

タイトル

「メイク・ア・ウィッシュの
大野さん」

著者 大野 寿子
発行所 メディアファクトリー



～ともに生きるよろこび～

「メイク・ア・ウィッシュ」～重い病気と闘う子どもの夢をかなえるボランティア団体～の存在を知った大野さん。メイク・ア・ウィッシュオブ ジャパンの活動へ、押しかけるようになった。日本では知名度がないころからの活動の中で2,000人以上の子どもたちの夢の実現を応援してきた。彼女が出会った子どもたちの話がつづられた本である。

大野さんが初めて子どもの夢をかなえたのは急性リンパ性白血病と闘う8歳の男の子の「野生のイルカと一緒に泳ぎたい」という夢だった。ハワイの海上でイルカを探し続けあきらめかけた時に遭遇したイルカの大群。どこまでも青く続く海の中でイルカに囲まれた男の子の瞳が海の表面で光る気泡と一緒にキラキラ輝いていた。この瞬間から大野さんはメイク・ア・ウィッシュの「種まきおばさん」になったのだという。

「ボランティアのススメ」について書かれている部分がある。一つ目は「三日坊主のススメ」～せっかく熱い思いが湧きあがったのに考えてばかりではもったいない。のぞいてみて止めるのは決して恥でない。二つ目は「自己満足のススメ」～ボランティアを自己犠牲と考えてしまっではなかなか進まない、本人が生き生きしていればいい。三つ目は「売名行為のススメ」～ボランティアというと「偽善者」呼ばわりされることもあるがそんな言葉に負けないでほしい。「出る杭は打たれるが出すぎる杭は打たれ強い」ということだ。子どもたちから生きる元気をもらうとともにボランティアについても考えさせられる本である。

by komori

【参画だよりに関するご意見、ご感想をお寄せください】



弘前市民参画センター

〒036-8355 弘前市大字元寺町1番地13

TEL 0172-31-2500

FAX 0172-36-1822

開館時間 9:00～22:00

休館日 12月28日～1月3日

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/sankaku/>

